

# 防空圏譲れぬ一線

訪中したバイデン米副大統領と習近平国家主席が4日会談した。「新たな形」の大国関係を指した米中首脳会談から半年。海空で積極的打って出る中国と「太平洋の平和の番人」(米紙)を振る舞いた米国とで距離感の模索が続く。中国が東シナ海に設定した防空識別圏は日本を挟んで両国が譲れない一線だ。

## 米副大統領と習主席会談

【解説】中国の習関係の安定という大枠は4日、米中の「新」を明確にした。対立した大国関係「構築」を深める日本について重視姿勢を示し、は、尖閣諸島や歴史を防空識別圏をめぐる対米問題と際立した立も、多くの課題の1つ、日本国際的孤立と位置付けて米中を図ろうとしている。世界は安定の支えとなとして初めて制服組最高位の軍事副委員長に昇格した。

## 日本の国際的孤立狙う 中国

【解説】中国の習関係の安定という大枠は4日、米中の「新」を明確にした。対立した大国関係「構築」を深める日本について重視姿勢を示し、は、尖閣諸島や歴史を防空識別圏をめぐる対米問題と際立した立も、多くの課題の1つ、日本国際的孤立と位置付けて米中を図ろうとしている。世界は安定の支えとなとして初めて制服組最高位の軍事副委員長に昇格した。

## 「新たな関係」模索続く

米カリフォルニア州南アジアで10日開かれた共同記者会見で、防空圏設定でも許の高級保健施設でオバマ氏と習氏が首脳会談を席し、「アジア重視はど」(同報)を果たした。2009年11月、当時の空軍司令官だった許其亮・共産党中央軍事委員副委員長は空軍副司令官に昇格し、海空軍の活動範囲で「新たな関係」構築。米国の「腰砕け」(米紙)の外交官と、対日圧力だけでは不十分だと見做された。対日圧力だけでは不十分だと見做された。対日圧力だけでは不十分だと見做された。

### 米中の懸案と高官の発言

米国	中国
 <p>「深く懸念」 バイデン副大統領</p>	 <p>「国際法と国際的な慣例に完全に合致する」 (外務省の洪磊副報道局長)</p>
 <p>「現状の変更を試みる一方的行動に反対」 (ヘーゲル国防長官)</p>	 <p>「中国固有の領土」 (洪氏)</p>
 <p>「(北朝鮮に)変化がなければ」 (ケーツ北朝鮮担当特別代表)</p>	 <p>「(各国には)それぞれの立場がある」と調整難航を示唆 (武大偉、朝鮮半島問題特別代表)</p>
 <p>「(米企業を標的に受けた攻撃は)受け入れられない」 (パインズ国防副長官)</p>	 <p>「中国軍はいかなるハッカー行為も支援していない」 (常万全国防相)</p>

※写真はAPなど

秩序を「変える狙いがある(国防省)とし、過する便の飛行計画を防空圏設定でも歴史問題と絡めて日本批判に力を入れていた。閣内出を拒否している日本(共産党機関紙系中国紙)「運用中止」とした。また、中国外務省は「差」として歓迎している。米国の55の航空会社がその地域は確実だ。

日本と同様に防空圏に反発している韓国に對しては、習指導部と「善意的な隣国」を築いたことを背景に、韓国の反発表明も「友好的な隣国」(外務省報道官)と評価。日本との違いを強調する構えだ。(北京共同) 松岡誠

韓国、防空圏拡大を公表 15日から発効 「事前に十分説明」

2013.12.8 16:59

韓国国防省は8日、防空識別圏を拡大すると発表した。中国が東シナ海に一方的に設定した防空圏に対抗する一方で日本の防空圏が、韓国領空の一部を含んでいることへの不満解消を図った格好だ。15日から発効する。

拡大部分は国際民間航空機関（ICAO）が定めた韓国の民間航空機管制空域である仁川飛行情報区にはほぼ一致。日中両国の防空圏と、韓国が中国と管轄権を争う東シナ海の中岩礁、離於島（イオド、中国名・蘇岩礁）上空域を含む。

これまで一部が日本の防空圏内に含まれていた韓国・済州島南方の馬羅島（マラド）の上空が新たに韓国の防空識別圏に含まれるなど、日中韓の防空圏が一部で重複する形となった。

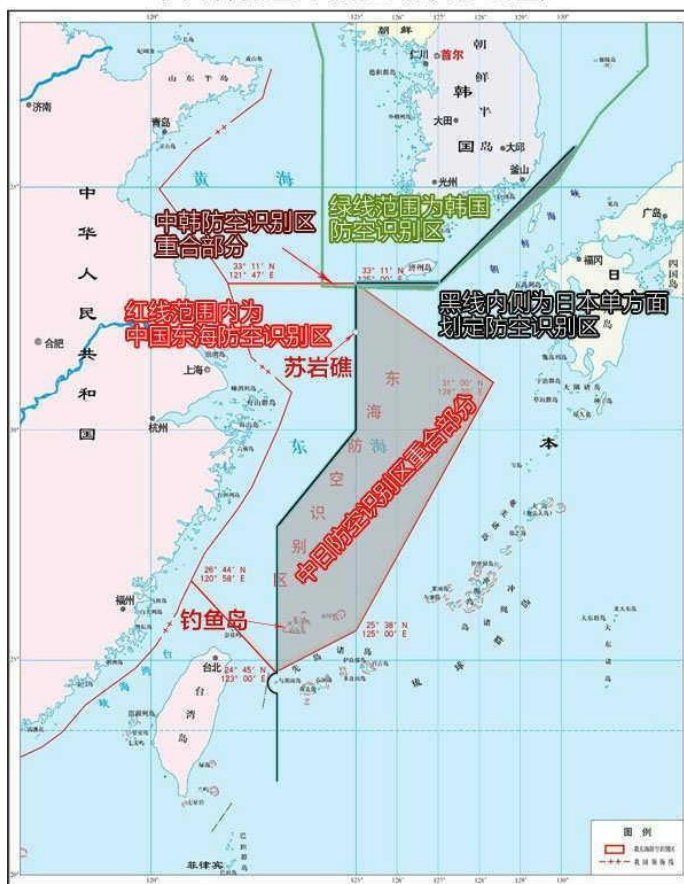
拡大について韓国国防省の高官は、日本、米国、中国に事前に十分に説明したとしたり、えで「国際的なルールに合致しており、過度な措置ではないという点で共感を得た」と述べ、理解を得られたとした。

また「偶発的軍事衝突を防止し、航空機の安全確保について関係国と協議していく」と述べ、一方的に防空圏を拡大して飛行計画書の提出を求めるなど強権的な姿勢を取る中国との違いを強調した。（産経）

韓国、管轄権確保へ布石＝「日中黙認」との読み－防空識別圏（2013/12/08-17:58）

【ソウル時事】韓国が防空識別圏拡大に踏み切った最大の理由は、中国と争う海中岩礁・離於島の管轄権確保への布石とするためだ。米国の理解を取り付けており、沖縄県・尖閣諸島をめぐる衝突している日中が韓国との新たな対立を避けるため「黙認せざるを得ない」との読みも、今回の決定を後押ししたもようだ。

中日韓防空識別区划示意图



韓国は離於島の管轄権を主張し、2003年には海洋科学基地を建設した。その後、中国も管轄権を主張するようになり、争いが起きている。

離於島海域は中韓それぞれが主張する排他的経済水域（EEZ）内にある。周辺は海底資源が豊富で、両国は境界線に関する協議を行ってきたが、結論は出ていない。中国が離於島を含む防空識別圏を設定したことで、管轄権争いに影響するとの懸念が韓国で出ていた。

一方、韓国が防空識別圏に含めた馬羅島と鴻島周辺の領空は、日本の防空識別圏と重なる。1980年代、海岸線から3カイリまでの領海上空とされてきた領空の範囲について、国際的に12カイリに拡大すると合意したことを受け、韓国の領空が広がり、日本と重複していた。こうした経緯から、この空域の拡大であれば、日本との激しい対立につながらないと韓国政府は予想している。

また、中国の防空識別圏設定も狙いは日本で、韓国の拡大には強く反発しないとの観測も浮上していた。

離於島のある東シナ海をめぐっては、中韓が8月、自国の大陸棚を沖縄トラフまでとして、開発権を主張する境界案を国連委員会に説明した。韓国の防空識別圏拡大も、権益確保を図る意味合いが強く、日中韓のせめぎ合いは今後も続きそうだ。

台湾、対話呼び掛け 韓国防空圏拡大で

2013.12.8 21:13 [韓国]

台湾の外交部（外務省に相当）は8日、韓国による防空識別圏拡大について、他国の防空圏と重なるため「争いと緊張を引き起こす可能性がある」と指摘し、平和的な対話で問題解決を目指すよう関係各国に呼び掛けた。

外交部は、馬英九総統が尖閣諸島（沖縄県石垣市）問題の平和的解決に向けて昨年提起した「東シナ海平和イニシアチブ」を挙げ、その精神と原則は各国が積極的に受け入れるに値すると強調した。（共同）

米、韓国の防空圏拡大を容認 事前説明を評価

2013.12.8 22:43

米務省のサキ報道官は8日、韓国の防空識別圏拡大をめぐり「事前に米国や日本、中国など周辺国に説明しており、責任ある対応を取ったことを評価する」と述べ、今回の拡大とその運用を容認する考えを示した。

米政府は一方的に東シナ海上空に防空圏を設定した中国には運用停止を求めているが、サキ氏は韓国が「国際規範や飛行の自由を順守している」と強調し「民間機にとっての混乱や脅威を避けるものだ」と指摘した。（共同）